

## 第1章 水道事業基盤強化に係る千葉県基本計画の概要と基本理念

---

### 第1節 概要

#### I 趣旨

水道は、県民が健康で文化的な生活を営む上で、欠かすことのできないライフラインであり、また、産業・経済活動を支える基盤施設としても、重要な役割を果たすものです。

県内の水道事業においては、高度経済成長期以降の人口急増や、都市化の進展、生活水準の向上などを背景として、水道事業が県内のおおむね全域で順次創設・拡張された結果、平成29年度において、県民の約95%が水道サービスを楽しむできるようになっています。

しかしながら、近年、人口減少社会を前提とした老朽化施設の更新需要への対応や、東日本大震災の経験を踏まえ、これまでの震災対策を抜本的に見直した危機管理への対策が求められており、水道を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況から、将来にわたり県民に水を安定して届けるためには、水道事業体の経営健全化、水道施設の更新や耐震化、技術の確保・継承など様々な課題に対処する必要があります。

本県では、これまで市町村水道総合対策事業補助金等の各種補助制度の活用により、水道事業体の経営基盤強化に努めるとともに、「県内水道の統合・広域化の当面の考え方」等を公表し、県内水道の統合等に向けて、取り組んできたところです。

こうした中、厚生労働省では、人口減少社会の到来などの変化に対応するため、平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定し、50年後、100年後の将来を見据えた水道の理想像や、その取り組むべき事項等を提示しています。

本県においても、2020年をピークに人口減少が見込まれる中、将来にわたり県民に水を安定して届けるためには、県内水道事業体の運営基盤の更なる強化を図る必要があることから、県内水道が目指すべき目標を掲げ、それを実現するための今後10年間の取組を提示した「水道事業基盤強化に係る千葉県基本計画（千葉県版水道ビジョン）」を策定することとしました。

#### II 対象地域及び計画期間

本計画は、対象地域を県内全域とし、将来における県内水道の理想像を視野に入れつつ、2019年度から2028年度までの10年間を計画期間とします。

### 第2節 基本理念

今後、人口減少が見込まれる中、将来にわたり県民に安定して水を届けるため『次世代の千葉を支える水道の確立』を基本理念に掲げ、実現に向けて、取組を進めていくこととします。